

2010年5月1日～2025年6月30日の間に

OCKD-NET手帳（『腎そうサポート手帳』）を受け取った方及び そのご家族の方へ

一 岡山市慢性腎臓病病診連携ネットワーク（OCKD-NET）における 慢性腎臓病（CKD）病診連携状況の前向き追跡検討 一

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 大塚 愛二

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
CKD・CVD 地域連携包括医療学 職名：教授 氏名：内田 治仁
研究分担者

所属	職名	氏名
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学	教授	和田 淳
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液浄化療法人材育成システム開発学講座	教授	杉山 斉
岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科	講師	喜多村 真治
岡山大学病院 血液浄化療法部	講師	木野村 賢
岡山大学病院 医療情報部	助教	森永 裕士
岡山大学病院 血液浄化療法部	助教	田邊 克幸
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学	助教	辻 憲二
岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科	助教	竹内 英実
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 血液浄化療法人材育成システム開発学講座	助教	大高 望
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学分野	大学院生	大西 康博

1. 研究の概要

(1) 研究の背景および目的

日本では透析を必要とする患者さんの数は毎年増えており、2008年末には28万人を超えました。そしてその背景には、透析予備軍とされる「慢性腎臓病」の患者さんが日本に1,330万人近く存在することがわかりました。またこうした慢性腎臓病の患者さんは、心筋梗塞や心不全、脳卒中などの病気を合併しやすいこともわかってきました。

このため「慢性腎臓病（CKD）」を早く発見し、早く治療することは、透析を防ぎ、重篤な心臓や脳の合併症を予防するために必要なことです。日本では、腎臓専門医が不足しているため、腎臓専門医とかかりつけ医／非腎臓専門医との連携（病診連携）が、慢性腎臓病の患者さんの診療には必要と考えられます。岡山市でも2007年より、腎臓専門医とかかりつけ医／非腎臓専門医との連携（病診連携）を促進する目的で岡山市CKD病診連携ネットワーク（OCKD-NET）が発足しています。しかし、慢性腎臓病の進行を食い止めるための有効な病診連携システムについてはまだわかっていません。

(2) 予想される医学上の貢献および研究の意義

この研究を行うことにより、「慢性腎臓病」の病診連携がすすみ、「慢性腎臓病」の進行・腎機能低下が抑制され、新たに透析が必要となる患者さんの数が減少するという医学上の貢献がなされることが考えられます。また、「慢性腎臓病」の多くの患者さんのために役立つ効果的で安全な治療法の確立につながることを期待されます。

2. 研究の方法

(1) 研究の方法

この研究では、岡山市 CKD 病診連携ネットワーク (OCKD-NET) *1 に登録しているかかりつけ医に通院中の、20 歳以上でご参加していただいた「慢性腎臓病」の患者さんを対象に、慢性腎臓病の進行の速さ、受診継続率、腎臓専門医に診察を依頼される頻度などを5年間にわたって経過観察します。研究に参加されてから、1年毎にかかりつけ医の先生に、「慢性腎臓病」の状態について、検査値・治療内容も含めて調査させていただきます。これによって、「慢性腎臓病」の進行を抑制するのに有用な診療システムが解明されると考えられます。

なお、「慢性腎臓病」の状態から、腎臓専門医への紹介が望ましい場合（紹介基準に該当する場合は、かかりつけ医の先生から紹介していただきます。その際に、かかりつけ医の先生から OCKD-NET 手帳（『腎ぞうサポート手帳』）があなたにわたされますので、保管して腎臓専門医を受診する時に持参してください。この手帳には、腎臓のはたらきや、慢性腎臓病について、また慢性腎臓病の検査項目・治療について説明されています。検査結果を記載する欄もあります。

*1 岡山市 CKD ネットワーク (OCKD-NET) : 岡山市医師会の開業医 (かかりつけ医) と岡山市内専門施設の腎臓専門医 (6 施設) との慢性腎臓病医療の連携を目的として、平成 19 年に発足しました。現在、90 の開業医施設の先生方が参加しています。

(2) 研究の対象者

この研究は慢性腎臓病の方を対象として、岡山市で500人の方に実施される共同研究です。そのうち岡山大学では、300人の方を対象として実施させていただきます。ただし、OCKD-NET に参加されているかかりつけ医の先生と岡山大学病院腎臓・糖尿病・内分泌内科（腎臓内科）との間で慢性腎臓病病診連携による診療を受けられている患者さんが対象となります。

(3) 研究期間

平成 22 年 5 月開催倫理委員会承認後 ～ 令和 12 年 12 月 31 日

(4) 使用する情報

この研究では患者さまのカルテの情報や日常診療で得られた血液・尿検査結果を使用します。血液・尿はかかりつけ医、あるいは岡山大学病院などの連携施設にて採取されますが、研究を目的とした新たな血液や尿の採取は行いません。氏名などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

(5) 情報の保存、二次使用

情報の管理はコード番号等で行い、患者さまの氏名など個人情報が外部に漏れることがないように十分留意します。また、患者さまのプライバシー保護についても細心の注意を払います。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際には、倫理委員会にて新たに承認を得たうえで周知致します。

(6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年7月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 CKD・CVD 地域連携包括医療学 教授 内田 治仁

住所：〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1

電話番号：086-235-7235（平日水～金 8:30～17:15）

Fax： 086-222-5214